

市政を問う

一般質問

9月定例会における市政に関する一般質問は、8月30日、31日に行われ、8人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。

(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

※質問、答弁の詳細は11月25日頃から半田図書館・亀崎図書館等に設置された会議録でご覧いただけます。また、市議会ホームページにも掲載します。

※その他、議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。

花と緑あふれるまちづくりへ



自民クラブ 加藤美幸

問 地球温暖化対策や美しい景観形成に重要な、花と緑を増やすことへの考えを伺います。

答 半田市は、自然が持つ多様な機能を社会基盤整備や土地利用に活用する「グリーンインフラ」の考え方で、まちづくりを行っています。市民や事業者も同様に緑化に取り組んでいただきたいと考えています。

問 花に愛着を持つ人を増やすためには、専門家による講座を設けるなど新たな取り組みが必要と考えますがいかがですか。

答 これまでに、さつき展やフラワーコンクール、苗木の配布など行ってきましたが、環境や景観の観点からも花木に愛着を持つことは大事です。今後は愛知県が実施する緑化研修を市民が利用できるよう情報提供をしていきます。

問 個人の庭や店舗の入植栽を一般に公開する

「オープンガーデン事業」を実施する考えは、ありますか。

答 多くの人に見てもらえる楽しみやモチベーションの向上に繋がると考えますが、訪れる人のマナーにより騒音や迷惑駐車なども懸念されることもあり、慎重に検討する必要があります。まずはフラワーコンクールに参加している皆さまに意向を伺います。

問 花づくりや緑化についてアドバイザーや指導のできる市民を「マイスター」に認定する制度を設けてはいかがですか。

答 専門家による「景観アドバイザー制度」で、市民や事業者の花づくりや緑化を景観に活かすための取り組みを行っています。新たな「マイスター」制度は考えていません。

問 公共用地の花壇設置に対し、協賛金を出資していただく「スポンサー花壇制度」の実施について、どう考えますか。

答 今後は公園や道路の植樹帯などへの花壇のスポンサーとなる企業などの募集にチャレンジします。



児童生徒のマスク着用



チャレンジはんだ 國弘秀之

問 マスク着用の指導はどのようですか。

答 熱中症の恐れがある場合、マスクを外して活動するよう指導しています。

問 保護者に対する説明はどのようですか。

答 様々な通知や学校だより、保健だよりで指導内容をお知らせし、マスクの着用について理解を図り、熱中症リスクの高い日の登下校や屋外活動では、マスクを外して活動するよう理解と協力を求めています。

問 マスクを着用できない児童生徒への差別や偏見をなくすための取り組みはどのようですか。

答 長引くコロナ禍によりマスクの着用は日常生活の一部となっており、天候などの状況に応じたマスクの着脱には、それぞれ意識の差が出てきている状況があります。しかし、熱中症などのリスク回避のためには、状況に応じたマスクの着脱は必須であり、マスク着

用の考え方を繰り返し周知するなかで、マスクをするべき時と、外すべき時を分かりやすく指導するように努めています。また、様々な理由で、マスクを着用できない場合、家庭と十分相談したうえで合理的な配慮ができるよう、職員間で共通理解を図っています。

半田市における自殺対策

問 自殺者の実情をどう捉えていますか。

答 半田市における過去10年間の自殺者数33名の推移については全国的な傾向と同様です。コロナ禍における環境変化に加えて、影響の長期化による孤独感、孤立感が顕在化したものと推察しており、これまで通り、年代に応じた社会的要因を踏まえた対策に継続的に取り組むことが重要であると認識しています。

問 これまで行ってきた自殺対策の評価はどのようですか。

答 自殺の背景には様々な社会的要因があり、長期化するコロナ禍のもとでは複雑化しやすいため関係部署や機関等が連携して支援しています。



市政を問う

一般質問 (質問議員が執筆しています)